

## 造影剤腎症（CIN）とヨード造影剤

GE Healthcare Japan 造影剤部門 齊藤圭吾

現在ヨード造影剤を用いた多くの症例は安全に使用されているが、一部の症例で一過性のクレアチニン値の上昇、あるいは造影剤腎症（CIN）と呼ばれる状態を引き起こすことが知られている。CINの発生頻度はリスクファクターの有無により大きく異なり、そのリスクファクターの例として慢性腎不全、糖尿病などが挙げられる。今後の高齢化社会を迎えるに当たりこのようなCINのリスクを持つ患者様がますます増加することが予測される為、本講演ではCINを基本とし、ヨード造影剤を用いた造影検査をより安全に実施する為の対策や予防法を解説すると同時に、諸外国のCINに関する考え方も紹介する。